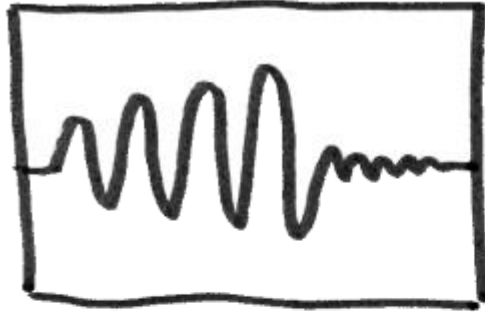


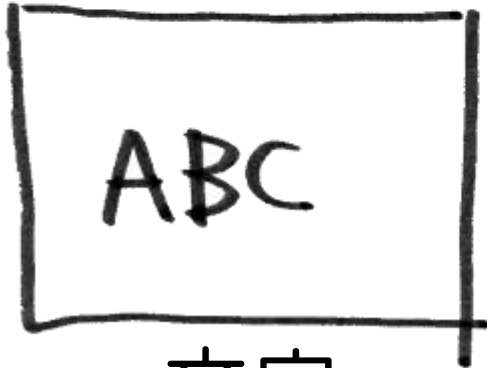
今のAIって、ほぼ「認識」
というか、「解析して分類」！



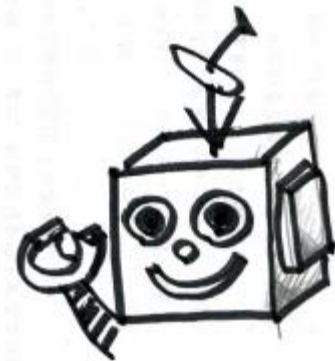
音、データ



画像



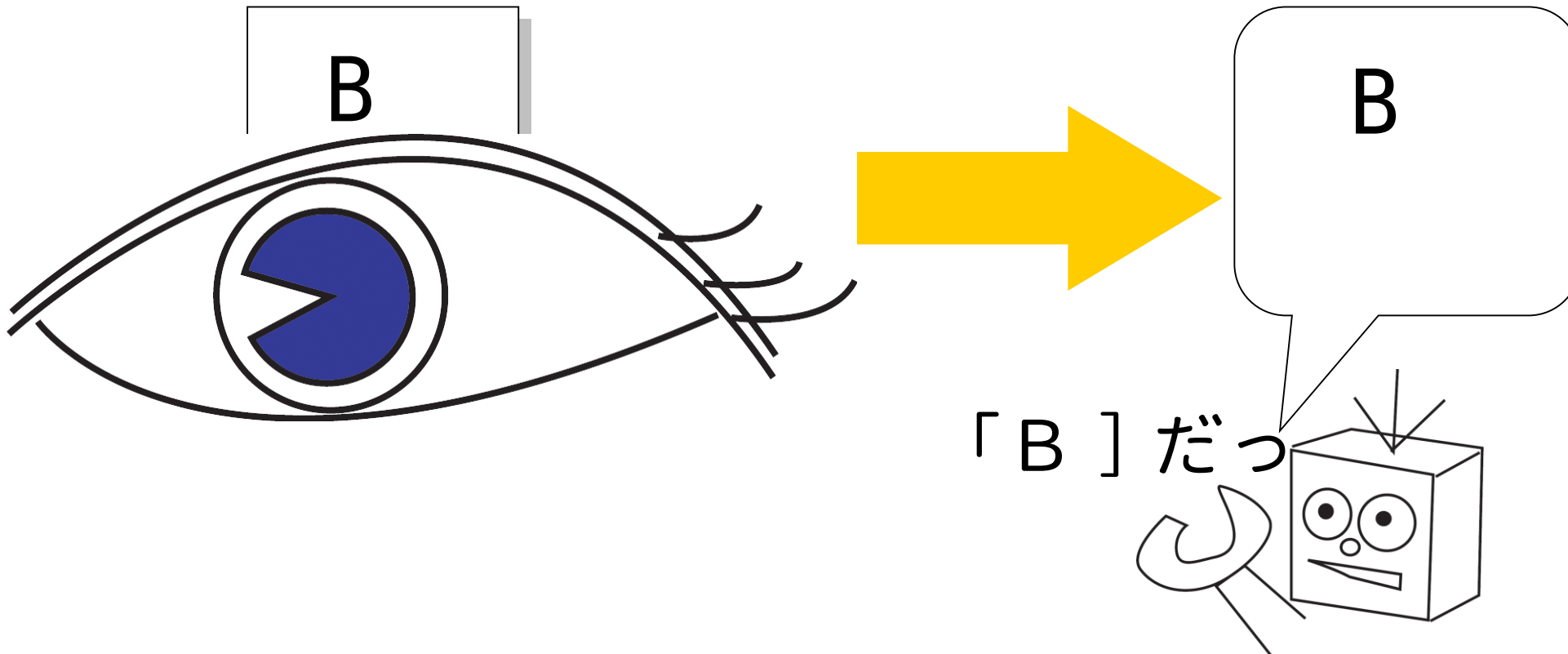
文字



つまりところすべてパターン分析とか予測（認識）になる

「文字認識」というより、「文字分類」

文字(パターン)を認識(分類)する



「①エキスパートシステム」

例：画像認識（分類）

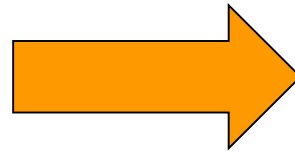
例：「B」の文字を識別・分類

→ エキスパートシステムでは、
識別・分類**方法を考え**、
（この例では、「**テンプレートマッチング**」
や「**特徴量マッチング**」）
プログラミングして作る（if … then…）の書式等で

「①エキスパートシステム」その1

例：画像認識（分類）「テンプレートマッチング」

識別用の「データ」（テンプレート）

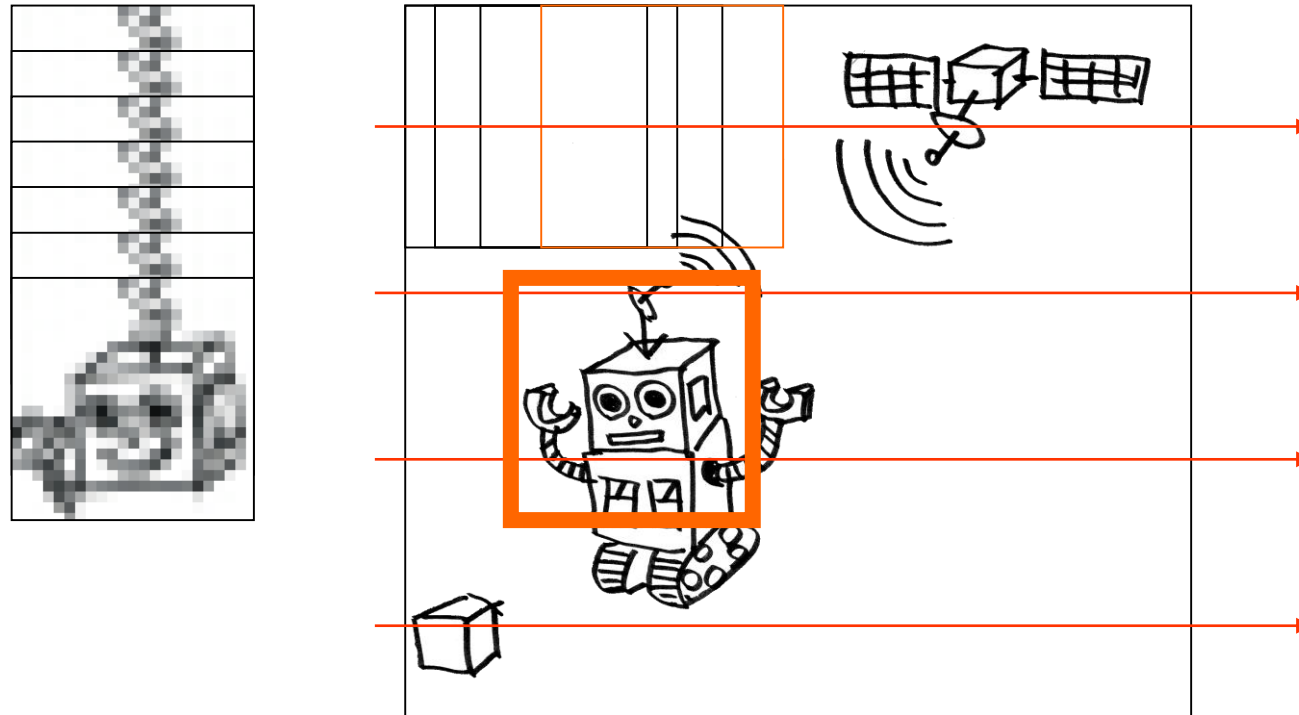


テンプレートデータ

「①エキスパートシステム」その1

例：画像認識（分類）「テンプレートマッチング」

端から、テンプレートを動かしてあわせていく



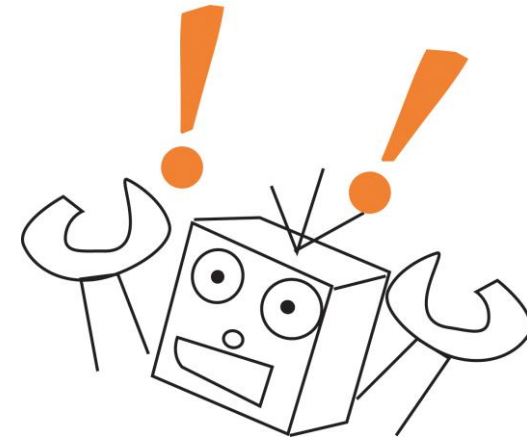
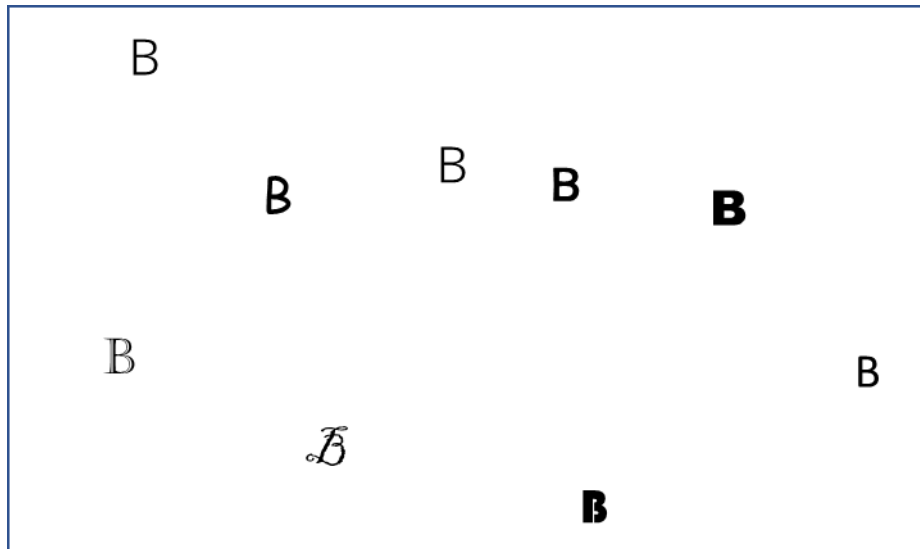
if 「画像がテンプレートと重なる」 → 「見つけた！」

【テンプレートマッチング】

「①エキスパートシステム」 その1

ひたすらパターンをデータ化

たくさんの「テンプレート」を用意！



if 「Bのテンプレートと一致」 → 「文字は『B』」

無限のパターン有

沢山のパターンに対応せねばならない場合、

【テンプレートマッチング】 いまいち現実的ではない・・・